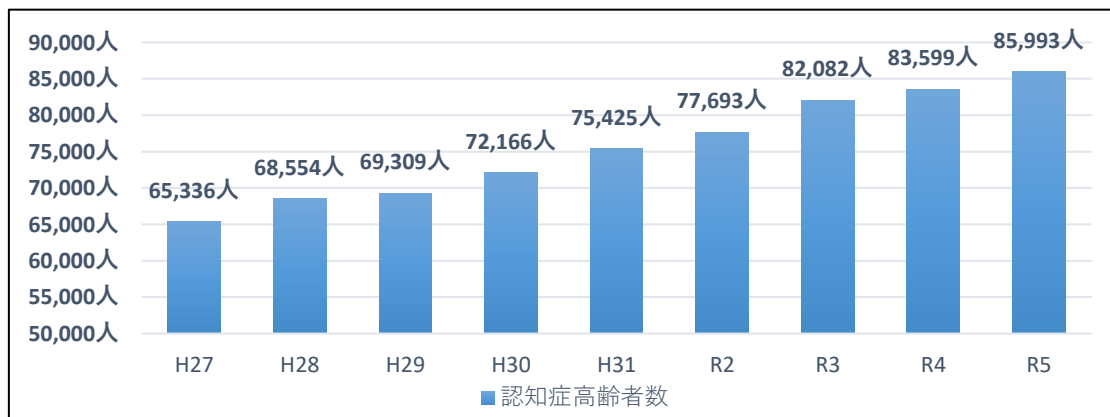


1. 認知症高齢者数について

(1) 認知症高齢者数の推移

①認知症高齢者数の推移



※平成25・26年は11月30日時点、平成27年以降は4月1日時点

認知症高齢者数(※)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)
65歳以上 (日常生活自立度Ⅱ以上)	69,309人	72,166人	75,425人	77,693人	82,082人	83,599人	85,993人
前年増加率	101.1%	104.1%	104.5%	103.0%	105.6%	101.8%	102.9%
75歳以上(再掲) (日常生活自立度Ⅱ以上)	61,210人	64,017人	67,179人	69,352人	72,834人	74,217人	77,075人

※ ここでの「認知症高齢者」とは、「何らかの介護・支援を必要とする認知症がある高齢者」とされる「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の人としている

②高齢者数(第1号被保険者数)

高齢者数(第1号被保険者数)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)
高齢者数(65歳以上)	680,434人	684,566人	686,968人	687,673人	686,793人	682,062人	676,867人
再掲: 75歳以上【A】	338,163人	347,195人	356,680人	361,314人	360,296人	364,238人	377,219人
再掲: 85歳以上【B】	93,334人	98,864人	103,844人	109,293人	115,736人	119,918人	123,754人
【B】/【A】(※)	27.6%	28.5%	29.1%	30.2%	32.1%	32.9%	32.8%

※ 75歳以上の高齢者に占める85歳以上の高齢者の割合

➤ **認知症有病率が高い85歳以上の高齢者の増加が、認知症高齢者数の増加に影響していると推察できる。**

(2) 認知症高齢者の将来推計について

①数学モデルにより算出された2012年の性・年齢階級別認知症有病率

年齢階級	男性	女性
65-69歳	1.94%	2.42%
70-74歳	4.30%	5.38%
75-79歳	9.55%	11.95%
80-84歳	21.21%	26.52%
85歳以上	47.09%	58.88%

※「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学 二宮教授)による速報値



上記速報値に国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年(2018)年3月推計)」による大阪市の男女別・年齢階級別人口の将来推計をかけて、大阪市内の認知症高齢者数の将来推計を行った

②認知症高齢者の将来推計(大阪市)

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
認知症有病者数	12.1万人	13.7万人	14.9万人	15.6万人	15.4万人
認知症有病率	17.1%	19.5%	20.9%	21.1%	19.5%

➤ **今後も当面の間、大阪市内における認知症高齢者数の増加が見込まれる**

(3) 所在別の認知症高齢者等（日常生活自立度Ⅱ以上）の数

	認知症 高齢者等	認定申請時の所在（再掲）				
		在宅	特別養護 老人ホーム	介護老人 保健施設	介護療養型 医療施設	その他
総数	87,785	48,909	7,413	3,739	70	27,654
40歳～64歳	1,792	927	43	39	0	783
65歳以上	85,993	47,982	7,370	3,700	70	26,871
65～74歳	8,918	5,259	361	193	7	3,098
75歳以上	77,075	42,723	7,009	3,507	63	23,773

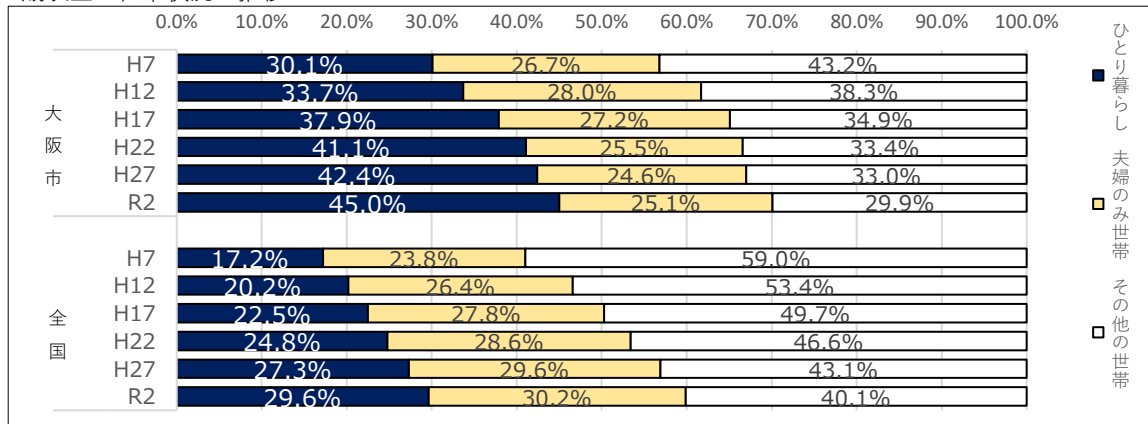
※大阪市福祉局調べ 2023年4月1日現在

※「その他の施設」は、認知症高齢者グループホーム、特定施設入居者生活介護適用施設、医療機関等

➤2023（令和4）年4月1日現在の要介護認定申請に係る認定調査において、認知症高齢者等のうち約56%の方が在宅で生活されている。

(4) 世帯の状況について

65歳以上の世帯状況の推移



➤令和2年度国勢調査によると、高齢者がいる世帯の状況として、ひとり暮らしの割合が全国に比べ高い状況となっており、今後も増加が続くと見込まれる。

2. 若年性認知症について

①大阪市における日常生活自立度Ⅱ以上の数

認知症者数	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)
40歳～64歳 (日常生活自立度Ⅱ以上)	1,539人	1,508人	1,487人	1,516人	1,519人	1,703人	1,730人	1,792人

※ ここでの「若年性認知症患者数」とは、「何らかの介護・支援を必要とする認知症がある高齢者」とされる「認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の人としている

②若年性認知症の人の推計値（日本医療研究開発機構認知症研究開発事業「若年性認知症の有病率・生活実態把握と多角的データ共有システムの開発」（R2.3）に基づく）

	推計人口数	10万人当たり 有病率（人）	若年性認知症 (推計値・人)
40～44歳	183,541	8.3	15.2
45～49歳	212,722	17.4	37.0
50～54歳	211,591	43.2	91.4
55～59歳	177,036	110.3	195.3
60～64歳	146,828	274.9	403.6
計			742.6

※推計人口数は、令和4年4月1日時点（都市計画局調べ）

➤令和2年3月の若年性認知症実態調査結果では、18～64歳人口10万人当たりの有病率は50.9人

➤これを大阪市の40～64歳推計人口にあてはめると、742.6人となる。

※日本医療研究開発機構認知症研究開発事業「若年性認知症の有病率・生活実態把握と多角的データ共有システムの開発」（R2.3）